

# 元米連邦検事が、ブッシュの不法なイラク戦争の集団告訴 に加わる

【訳者注】読者のコメントを読むと、期待しながら、同時に期待を戒める声が優勢である。確かに、現米政権がおとなしくこれを受け入れるとは考えられない。しかしこれを支援して、民衆が大運動を起こす可能性はある。そのとき政府は大弾圧を行うかもしれない。そして内乱のような大混乱を乗り越えたときに、希望の光が見えてくるというシナリオは、あり得るだろう。そうなったときも主流メディアは、反政府運動をテロとして報道するのだろうか——まさか！

By Claire Bernish

June 17, 2015, Information Clearing House



イラク侵略に一役買ったブッシュ政権のメンバーたちに対する訴訟が、最近、国際的に著名な弁護士団から注目すべき支持を受け、その中には元米連邦検事も加わっている。このグループは、第9区巡回控訴裁判所に対し、このアメリカ主導による戦争は、第二次大戦後ニュルンベルク裁判によって定義された国際的ガイドラインに違反する、不法な侵略行為であったという根拠で提出されたこの集団訴訟を、検討するように求めている。

イラク人の母親 Sundus Saleh が 5 月 27 日に提出したこの訴訟は、相手取る人物として、元大統領ジョージ・W・ブッシュ、元副大統領リチャード・チェイニー、元国防長官ドナルド・ラムズフェルド、元国家安全保障担当大統領補佐官コンドリーザ・ライス、元国務長官コリン・パウエル、それに元国防副長官ポール・ウォルフowitzをあげ、彼らは「イラクの人民に対する侵略の犯罪を共謀し、実行することによって、法を破った」と述べている。

彼女の法廷への訴状にはこのように書かれている：——

<http://witnessiraq.com/wp-content/uploads/2013/03/SalehBush.pdf>

「被告たちはすでに 1998 年にイラクに対する戦争を計画していた。彼らは、“キノコ雲” のイメージや、フセイン政府をアルカーイダと同一視させることによって、合衆国人民を、戦争を支持するように操縦し、正当な法的な承認なしに侵略を始めることによって、国際法を破った。60 年以上も前に、ドイツ、ニュルンベルグ裁判で、アメリカの検察官たちは、侵略戦争を企み実行したとして、ナチスの指導者たちを有罪とした。彼らは、ナチスが法的根拠なしに戦争を計画し実行し、何百万という罪のない人々を殺したことをもって、ナチスを有罪とした。」（強調引用者）

これはサンフランシスコに本拠を置く Comar Law 社が、公共の利益のために引き受けた訴訟で、ニュルンベルグ裁判の判決文が、この訴状のなかに特別に引用されていることに注目すべきである：——

「これらは最高に深刻な告発である。戦争は本質的に悪の行為である。その結果は・・・世界全体に影響を及ぼす。したがって侵略戦争を始めるということは、単に国際的な犯罪というだけでなく、最高の国際的犯罪であり、それが他の戦争犯罪と違うところは、ただそれ自体の内部に、蓄積された悪の全体を含んでいることである。」（強調は訴状）

以前に Saleh が、ブッシュ政権をカリフォルニア法廷に告訴しようとした試みは、オバマ政権の弁護士を含む、政府からの抵抗に遭って究極的に却下されたが、そのとき用いられたのは「Westfall 法」で、それは「その公務の範囲内で」活動する連邦公務員に、免責を与える規定であった。

<http://warisacrime.org/sites/afterdowningstreet.org/files/Certification%20of%20Scope%20of%20Employment.pdf>

しかし、Saleh のために、今度この弁護士団が提出した「意見書」(amicus brief) は、前の法廷が告発を却下するのに、ウェストフォール法の保護を用いたのは“禁止されていた”、なぜなら、ニュルンベルグ裁判の確立した“基準”は、「侵略の申し立てをはねつけるのに国内法を用いることを禁止しており、・・・国家のリーダーは、アメリカのリーダーでさえ、侵略を行う権威をもたず、彼らがそのようにしたという申し立てを、免責されるものではない」と述べているからである。因みに、この弁護士団のメンバーは、元米連邦検事 Ramsey Clark、民主的弁護士国際協会会長、元アメリカ - アラブ反差別委員会会長、元全国法律家ギルド会長、労働者の権利のための国際委員会の共同設立委員、全国法律家ギルドの国際委員会共同議長、などである。（強調引用者）

<http://witnessiraq.com/wp-content/uploads/2015/05/AOB-Brief-Only-Final.pdf>

更にもう一つ別の意見書が、非営利の Planethood Foundation によって提出された。これは、この組織が 1996 年、ニュルンベルクの唯一の生存者 Benjamin Ferencz 首席検事によって設立されたことを考えれば、それ自体説得力ある訴訟だといってよい。この意見書は、「権力の地位にある人々」が、その影響力を腐敗させて、彼らの犯罪の責任を免れるために用いることは許されない、と警告している。この意見書は、「侵略戦争を計画し、自分から戦争を仕掛けることは、**人道（人類）に対する犯罪**であり、これを犯した者は、個人でも国家でも、国際裁判の法廷で裁かれねばならない」というニュルンベルク審理後に出された声明を引用している。（強調引用者）

<http://pontiactribune.com/illegal-invasion-of-iraq-resulted-in-1-million-civilians-dead/>

これらの意見書のもつ意味は、この事件へのいや増す国際的関心の中にあって、いくら強調してもしきれない。ブッシュ政府を戦争犯罪で告発せよという要求は、最近の報告が、イラク戦争の結果として 100 万を超える死者を推計するようになって、ますます激しくなっている。

<http://pontiactribune.com/illegal-invasion-of-iraq-resulted-in-1-million-civilians-dead/>

サレーの訴訟に対して、連邦控訴裁判所から、適切な応答があることを望みたい。なぜなら Comar 社が“Truthout” ニュース組織に話したように、「これは、いまだにイラクで連日起こっている恐怖である。このような大混乱をもたらした者たちは、この衰えない悲劇における彼らの役割について、意味のある訊問をまだ受けていないのである。」

<http://www.truth-out.org/news/item/31360-former-us-attorney-general-files-brief-in-lawsuit-challenging-legality-of-iraq-war>